

1月給食だより

令和7年1月8日

練馬区立八坂小学校

新年あけましておめでとうございます。今年度も、残すところあと3か月となり

ました。引き続き、毎日の給食時間が待ち遠しくなるような、魅力ある給食作りに努めていきたいと思ひます。

今年度もよろしくお願いいたします。

今年（へび）年！

へびは、食べる時に獲物を丸のみしますが、皆さんは、よくかむことを意識して味わって食べましょう。



冬の野菜は甘い!?

冬が旬の野菜は、寒さで凍らないよう、細胞に「糖」を蓄えるため、甘く

感じます。また、雪がたくさん降る地域では、「越冬野菜」といって、秋に

収穫する野菜をそのまま埋めておき、雪の中で保存する方法があります。寒

さで野菜の甘味やうま味が増して、よりおいしくなるそうです。冬ならではの

野菜の甘味、ぜひ味わって見てください。

1月24日～30日は、全国学校給食週間です!

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現：鶴岡市）の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA（アジア救済公認団体）」

から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24

日に、東京都区内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」とし

ましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日までの1週間を「全国学校給食週間」と

することが定められました。

全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などを皆さんに知ってもらい、学校給食についてあらためて考える機会にしてほしいと思ひます。



学校給食の移り変わりを見てみよう!

明治22年	戦後（昭和20～30年代）	現在
<p>私立忠愛小学校で提供されたといわれる給食。</p>	<p>支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。</p>	<p>地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。</p>

* 今月の献立 *

1月11日(木)【松風焼き】・・・お正月献立

1月19日(金)【練馬大根のたくあんごはん】・・・練馬

★練馬大根のたくあんが入った混ぜご飯です。

1月24日(水)【練馬区一斉給食「長ねぎ」】・・・練馬

★練馬産ねぎの区内小中学校一斉使用日です。八坂小では、焼きとり丼に使用します。

